



丸木の土俵で戦うカブトムシに「がんばれ」と声をかける女児

丸木の土俵でハッケヨイ 全日本カブトムシ相撲大会

太良町

子どもたちがカブトムシを持ち寄り力を競わせる「第32回全日本カブトムシ相撲大会」（西日本新聞社後援）が24日、太良町多良のB&G海洋センター体育館であった。町内の社会福祉法人佐賀西部コロニーの主催で、今年は大分府などの1府7県から4〜12歳の203人が出場した。

子どもたちは飼育したり、会場で購入したりしたカブトムシを丸木（直径20センチ）の土俵で対戦させた。あごで投げ飛ばすなど、熱い取り組みに興奮し、歓声を上げた。優勝した白石町深浦の有明南小3年、永田希羽さん（8）は「会場で2匹購入して強そうな方を出したら一度も負けなかった。大事に育てます」と話した。

（百合直巳）